

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

協力隊2年目のチャレンジ!



増田 啓一郎
Café&DELI Luka 勤務。京都出身、料理をすること、食べることが好きな46歳

地域おこし協力隊の思い出

こんにちは。津別に来て1年が経ちました、協力隊員2年目の増田と申します。木材工芸館キノスの隣の黄色い建物のCafé&DELI Luka カフェアンドデリカ)で主に調理を担当しています。チーズ工房もあり今年からチーズ作りも始めていく予定です。任期も2年目に突入しました。1年目はとにかく環境に慣れるだけで精一杯でしたが、今年は1年目より進化、発展していけるように頑張りたいと思います。

この日記を書いている頃は5月で芝桜が見頃です。毎日ルカの近辺を散歩しています。朝は本当に気持ちいいです。一年を振り返ってみると冬は家の水道が凍結、クリスマス前の大雪の洗礼を受けたときは、クリスマススキンの販売日で、さらに停電が起きたりと四苦八苦しました。収穫祭のときはたくさんのお客様に来店頂き、私はひたすらフライドポテトを揚げていました。お盆の時期は来客が多く朝から晩まで仕込みと調理に追われていました。1年間で色々貴重な経験ができました。充実した1年でした。津別に来て本当に良かったと思います。2年目もさまざまなことにチャレンジしていきたいと思えます。そして、いつか、おもしろい飲食店を津別で作るのが夢です!



地域貢献の連携ボランティア

NIPPO 北網出張所と円輪建設がグラウンド整備を実施

5月17日、株式会社 NIPPO 北網出張所と株式会社円輪建設が、運動会の開催に向けて小学校のグラウンド整備を実施しました。毎年のボランティア活動は今年で14回目を迎え、両社は地域のために継続的な貢献をしています。



未来への希望を苗木に託す

共和の町有林で町民植樹祭を開催

5月7日、4年振りとなる町民植樹祭が共和の町有林で開催されました。約60人の町民が参加し、豊かな自然環境づくりに向けてカラマツ400本を植樹。最後に記念標柱を建立し、未来への財産である苗木の健やかな成長を願いました。

農協デパート60年の役目を終え、隣に大通地区コミュニティ施設が完成

現在インターネットで公開中! 町のHPをご覧ください

2023年5月13日、昭和38年に建てられた「農協デパート」で営業をしていた町で唯一のスーパー「グリーンマートつべつ」が新施設への移転のため、営業を終了しました。人口のピークだった昭和30年代に建てられ、今年の夏に解体が決まっている「農協デパート」を、農業青年と共に振り返りました。また、農協デパートの隣に完成した「大通地区コミュニティ施設」のご紹介もお送りします。まちなか再生事業の今を、ぜひご覧ください。



この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信(月1回)することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ(映像看板)」でも視聴することができます。*タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月末日ごろ更新 《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》

問い合わせ先 住民企画課 企画係14番窓口 ☎77-8374



自然とのつながりを感じる

アソビバ!つべつ「たんぼの苗植え」

5月20日、達美の農場で社会教育事業の「たんぼの苗植え」が行われました。JA つべつ青年部の方々を講師として招き、お米やいもなど4種類の苗の植え付けを実施。子どもたちは、苗を植える過程で土と触れ合い、自然とのつながりを感じることができました。



基本条例策定に向け理解を深める

まちづくり基本条例キックオフ勉強会を開催

5月16日、住民、議員、役場職員を対象にまちづくり基本条例キックオフ勉強会を開催。北大の神原勝名誉教授を講師に招き、条例制定の意義について講演いただきました。今後も策定に向け基本条例に関する認識を深める機会を設ける予定です。